

令和8年度 研究構想図

学校教育目標 ○思いやりのある子 ○たくましい子 ◎学び合う子【重点】 ・よく考え、主体的に学習に取り組む ・人との関わりの中で成長する	学校の実態/児童の実態 ・令和5年度から40分授業午前5時間制の取組を開始。 ・令和6年度から自己選択学習を導入。 ・区学力テストの結果から、学力向上が学校としての大きな課題である。基礎、基本が定着しない児童は、自己調整しながら学習に取り組むことが難しい。 ・受け身の児童が多く、主体的に学習に取り組む姿を育てていく必要がある。 ・自分自身や自己の学びを客観的に捉えることを苦手とする児童が多い。
---	--

研究主題

自己調整力を高める学習活動の創造

授業研究

・単元内自由進度学習（マイプラン学習）

・自己選択学習の時間（菅刈探究タイム）

+

授業改善・学力向上

・授業力向上、40分の授業改善を目指す取組

・基礎、基本の定着を目指す学校全体の取組

研究仮説

各教科等の指導において、また午前5時間制で生み出した裁量の時間（菅刈探究タイム）において、自己の学びを調整しながら計画的に学習を進める機会を充実させれば、児童が主体的に学習に取り組み、自己調整力を高めることができるであろう。

自己選択学習の時間

児童一人一人が自らの興味・関心や学習上の課題等に応じて柔軟に学びを選択する学習。

菅刈小が捉える学習の「自己調整力」の3要素

・動機づけ…学習への興味や意欲を高め、目標を設定する力。

・学習方略…学習を効果的に進めるための方法や工夫を使いこなす力。

・メタ認知…自分の学習状況を客観的に把握し、必要に応じて学習方法を調整する力。

	目指す児童像（低学年）	目指す児童像（中学年）	目指す児童像（高学年）	目指す児童像（特支）
学び合う子【重点】 ～よく考え、主体的に学習に取り組む～	様々な学習方法を知り、最後まで取り組むことができる児童。	様々な学習方法の中から自分に合ったものを選び、最後まで粘り強く学習に取り組むことができる児童。	見通しをもち、自分に合った選択をしながら最後まで粘り強く学習に取り組むことができる児童。	自分の興味・関心をもとに学習を進め、最後まで取り組むことができる児童。

	各教科の指導	裁量の時間
分科会	単元内自由進度学習（マイプラン学習）	自己選択学習の時間（菅刈探究タイム）
ねらい	自分の学習状況を客観的に把握し、自分に合った学習の仕方を選択することを通して自己調整力を高める。	自らの興味・関心等に応じて課題を設定し、学び方や学習材を選択しながら、学習計画を立てたり修正したりして自己調整力を高める。

+

日々の取組

授業改善・学力向上（レベルアップタイム）

・40分授業において、各教科の資質・能力を育成する「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指す。

・基礎、基本を定着させ、「確かな学力」を身に付けさせる。